

2025 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

教科	宗教	科目	宗教	単位数	1	コース	全コース
教科書	『みのり』（本願寺出版社）						
副教材等	聖典聖歌（龍谷総合学園） ・日々の糧（相愛学園） ・リーフレット						

1 学習の到達目標

宗教では、自ら学び、自ら考える力を育みます。自分自身をしっかりと見つめ直し、より充実した生き方を追及できるように学習します。また、学校生活における生徒間のかかわりの中から、感謝の気持ちと、思いやりの心を身につけ、心豊かな宗教的情操を育むことを目標とします。3 年生は親鸞聖人の開かれた浄土真宗について学び、親鸞聖人の生き方と自己の毎日と照らし合わせて考えていきます。

2 担当者からのメッセージ（学習方法等）

「真の充実」とは何なのでしょう。自分の為に生きるということだけではなく、それぞれの特質（こだわり・興味のあること、得意なこと）を生かし、それを究めて、何か世の中に還元（役立つ・喜ばせる）してみるというのはどうでしょうか。それこそが、「縁起（＝関係性によって仮に成り立つ）」として生きる自分にとって、結局は真の幸せに繋がるのかもしれません。教科書を通じ「生かされて生きる」ということを楽しく学んでいきましょう。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観 点	I：知識・技能（技術）	II：思考・判断・表現	III：主体的に学習に取り組む 態度
観 点 の 趣 旨	親鸞聖人の生涯について理解を深め、その教えを正しく理解しているか。また、知識として理解を深めるだけでなく、人間性を養うことに繋がっているか。	親鸞聖人の教えに触れることで、実社会や実生活と自己とのかかわりから、問を見出し、自分で課題をたてて情報を集め、整理、分析してまとめ、表現している。	親鸞聖人の教えに触れることで、物事に対する多面的・多角的な見方への発展や、生活や社会、人間関係をよりよく構築するために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。
評 価 方 法	定期考査 小テスト	定期考査 パフォーマンス課題 学習状況 発問への対応 感想文等の取り組み	パフォーマンス課題 学習状況 発問への対応 感想文等の取り組み

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりとともに評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 年間指導計画

※表中の観点 I：知識・技能 II：思考・判断・表現 III：主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

学期	単元名	学習内容	主に評価する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		
1 学期 中間	第一節 真実を求めて	オリエンテーション 第 3 章 親鸞聖人に学ぶ 1. 誕生 2. 出家（得度） ※「日々の糧」・「聖典」のことば・時事問題を交えながら学習する。	○			I：親鸞聖人がどのような経緯で出家に到ったのか、その背景について理解している。 II：浄土真宗を開かれた親鸞聖人について、誕生のエピソードより、「生きる意味」について考える。また、日々の糧の内容について自分の問題としてとらえて表現できる。 III：親鸞聖人の生涯から生き方について学び、それを自分の問題として受け止め、積極的に取り組むことができる。	学期末に行う年 3 回の試験。授業を受けるにあたっての平常点。ノート、発表、課題提出。板書事項、説明等、きちんとノートにま
1 学期 期末	第一節 真実を求めて	3. 修行（比叡山へ） 4. 六角堂参籠 5. 法然聖人 6. 結婚 まとめ 期末考査 ※「日々の糧」・「聖典」のことば・時事問題を交えながら学習する。	○	○		I：親鸞聖人が比叡山においてどのような生活を送っていたのかを理解している。 II：親鸞聖人が行った修行において、どのような気づきがあったのかを理解する。 III：親鸞聖人の生涯から生き方について学び、それを自分の問題として受け止め、積極的に取り組むことができる。	とめられたか。内容を理解し、自己のあり方を見つめ直せたか。
2 学期 中間	第二節 念仏の道を歩む	1. 流罪（越後へ） 2. 伝道（関東へ） 3. 京都へ ※「日々の糧」・「聖典」のことば・時事問題を交えながら学習する。	○	○		I：親鸞聖人が流罪となってどのような生活の中から自分自身見つめていったのか理解している。 II：親鸞聖人が関東に伝道するに至った経緯についてまとめ、があったのか理解している。 III：親鸞聖人の生き方について学び、それを自分の問題として受け止め、積極的に取り組むことができる。	

2 学 期 期 末	第二節 念仏の道を歩む	4. 往生 5. 本願寺 ※北御堂ミュージアム ※「日々の糧」・「聖典」のこ とば・時事問題を交えながら 学習する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○	I：親鸞聖人の晩年の伝道生活にふれ、 どのように念仏の教えがひろがった のかを理解する。 II：本願寺の発展について、資料をまと め、発表する。 III：親鸞聖人の生涯から生き方について 学び、それを自分の問題として受け止 め、積極的に取り組むことができる。	
3 学 期	第三節 真実の教え	1. 煩惱具足の凡夫 （浅原才市） 2. 阿弥陀如来さまの願い （他力本願） 3. 南無阿弥陀仏（念仏） とは 4. 悪人の救い （悪人正機） 5. 浄土に生まれる （往生浄土） おわりに ※「日々の糧」・「聖典」のこ とば・時事問題を交えながら 学習する。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	I：親鸞聖人のみ教えから、浄土真宗の 教えについて正しく理解している。 II：浄土真宗と他宗との違いを理解し、 その違いを明確に説明できる。 III：親鸞聖人の念仏の教えから生き方 について学び、それを自分に向けられた 願いと受け止め、積極的に取り組むこ とができる。	

2024 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

教科	国語	科目	国語	単位数	5	コース	全コース
教科書	「新しい国語 3」(東京書籍)						
副教材等	「国語スイッチ 3」(正進社) 「五回書き込み形式漢字練習ノート 3」(とうほう) 「新訂増補 すらすら基本文法」(浜島書店) 「国語便覧 大阪府版」(浜島書店)						

1 学習の到達目標

「読むこと」「話すこと・聞くこと」「書くこと」の三領域に加え、伝統的言語事項において、論理的思考の育成を目指し、確かな言葉の力と伝え合う力を育んでいく。

2 担当者からのメッセージ(学習方法等)

国語は積み重ねの教科です。今まで学んだ内容をもとにして、読解力や自分の意見を伝える力を高めることを目標とします。また高校の学習にもつながるように古典の基礎知識を身につけましょう。

3 学習評価(評価基準と評価方法)

観 点	I：知識・技能(技術)	II：思考・判断・表現	III：主体的に学習に取り組む 態度
観 点 の 趣 旨	・伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、身の回りの文字に関心を持ち、効果的に文字を書いている。	・目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを理解しながら読み、筆者の主張や登場人物の主張を適切に読み取ることができる。 ・目的や場面に応じ、相手の様子に合わせて話したり、課題の解決に向けて話し合ったり、適切な文章表現ができる。	・国語で伝え合う力を自ら進んで高めるとともに、国語に対する知識を深め、話したり、聞いたり、書いたりして考えを深め、読書を通して自己を向上させようとする。
評 価 方 法	・学習状況 ・定期テスト ・確認テスト	・学習状況 ・定期テスト ・確認テスト	・発問への反応・発言 ・課題やテストへの取り組み・内容・姿勢

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 年間指導計画

※表中の観点 I：知識・技能 II：思考・判断・表現 III：主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

学 期	単 元 名	学習内容	主に評価 する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		
1 学 期 中 間	言 葉 を 磨 く	<ul style="list-style-type: none"> ・「生命は」 ・「世界への入り口」 ・「俳句の読み方、味わい方」 ・「俳句五句」 ・「形」 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		<p>I・詩や俳句の意味や効果的な表現を捉え、文末表現などに注意して、読み方を工夫することができる。</p> <p>・読解するための必要な語句の量を増やすとともに、文章を読むことで、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>II・様々な形式の文章を読むことで、考えを広げたり、深めたりして、言葉について、自分の考えをきちんと持つことができる。</p> <p>・場面の展開や表現の仕方などを理解し、人物の考えや心情を捉えることができる。</p> <p>III・進んで詩や俳句の表現の工夫に注意しながら、情景や心情を推察し、ノート等に自分の意見・評価をまとめている。</p> <p>・進んで人物の考えや人間関係を捉え、作品に対して自分の意見をきちんとまとめることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・定期テスト ・確認テスト ・発問への反応・発言 ・課題やテストへの取り組み・内容・姿勢
1 学 期 期 末	作 品 を 論 じ る	<ul style="list-style-type: none"> ・「百科事典少女」 ・「絶滅の意味」 ・「文法（助動詞）」 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		<p>I・読解するための必要な語句の量を増やすとともに、文章を読むことで、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・熟語の構成や熟字訓について理解し、漢字を文や文章の中で使っている。</p> <p>II・文章の種類を踏まえて、小説の展開の仕方などを捉えている。</p> <p>・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>III・進んで熟語の構成や熟字訓について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・定期テスト ・確認テスト ・発問への反応・発言

					<p>て理解し、学習課題に沿って学んだことを文や文章の中で生かそうとしている。</p> <p>・進んで人物の考えや人間関係を捉え、作品に対して自分の意見をきちんとまとめることができる。</p>	<p>・課題やテストへの取り組み・内容・姿勢</p>
2 学 期 中 間		<p>・「おくのほそ道」</p> <p>・「万葉・古今・新古今」</p> <p>「論語」</p>	○	○	<p>・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。</p> <p>Ⅱ ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。</p> <p>・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持っている。</p> <p>Ⅲ ・積極的に集めた材料を検討し、学習の見通しをもって、文章の種類を選択したり、構成を工夫したりしながら、新聞記事を書いている。</p> <p>・進んで古典を読み、その世界に親しみ、文章と句が組み合わされていることの効果について話し合ったりしている。</p>	<p>・学習状況</p> <p>・定期テスト</p> <p>・確認テスト</p> <p>・発問への反応・発言</p> <p>・課題やテストへの取り組み・内容・姿勢</p>
2 学 期 期 末		<p>・「初恋」</p> <p>・「故郷」</p> <p>・「受け取る「利他」」</p>	○	○	<p>Ⅰ ・読解するための必要な語句の量を増やすとともに、文章を読むことで、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>Ⅱ ・文章の種類を踏まえて、詩の構成や展開の仕方などを捉えている。</p> <p>・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。</p> <p>Ⅲ ・進んで人物の思いについて考えながら、作品を読み深めることができる。</p> <p>・詩の表現の特徴を捉え、学習課題に沿って、リズムを感じ取りながら朗読しようとしている。</p>	<p>・学習状況</p> <p>・定期テスト</p> <p>・確認テスト</p> <p>・発問への反応・発言</p> <p>・課題やテストへの取り組み・内容・姿勢</p>
3 学		<p>・「いつものように新聞が届いた—メディアと</p>	○	○	<p>Ⅰ ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と紅葉について理解している。</p>	<p>・学習状況</p> <p>・定期テスト</p>

期		<p>東日本大震災―</p> <p>・「何のために「働く」のか」</p> <p>・「レモン哀歌」</p>			<p>・読解するための必要な語句の量を増やすとともに、文章を読むことで、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>Ⅱ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について、自分の意見を持っている。</p> <p>Ⅲ・進んで情報やメディアについて考えを深め、学習課題に沿って考えたことを形にしている。</p> <p>・進んで自分の生き方や社会との関わり方について考え、これまでの学習を生かして、自分が関心のある働き方や仕事について探求しようとしている。</p>	<p>・確認テスト</p> <p>・発問への反応・発言</p> <p>・課題やテストへの取り組み・内容・姿勢</p>
---	--	--	--	--	---	--

2025 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

教科	社会	科目	歴史・公民	単位数	4	コース	全コース
教科書	「中学社会 歴史的分野」(日本文教出版) 「中学社会 公民的分野」(日本文教出版)						
副教材等	「中学歴史資料集 学び考える歴史 大阪府版」(浜島書店) 「中学必修テキスト 歴史」(文理) 「オリジナルテキスト 公民 (日本教材出版)」 ・授業プリント 歴史的分野						

1 学習の到達目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2 担当者からのメッセージ (学習方法等)

社会は目に見える事象だけでつくられるものではありません。我々が生活する風土、自身では気付きにくい価値観も大きく作用しています。当然、地理や歴史で学んだことがらもふまえていきます。また、教科書ではふれていない真実も紹介していきます。自己の視点をしっかりと持ち、いろいろな考えに対して自分が納得できる考え方を見つけてください。「なぜそうなったのか」ということに着眼してより深く学んでいけるようにしていきましょう。

授業をしっかりと聞いて、歴史の流れ・社会のしくみを理解しましょう。様々なネタをかき集め、時には、俗説、奇説、私説をまじえていきます。歴史・公民の面白さ、楽しさを伝えることができれば幸いです。また、知識を追い求めるよりも今後に活用できる見方・考え方の育成を重視します。そのため、授業進度の調整を行い、投げ込みの教材も扱います。

3 学習評価 (評価基準と評価方法)

【歴史的分野】

観 点	I：知識・技能（技術）	II：思考・判断・表現	III：主体的に学習に取り組む 態度
観 点 の 趣 旨	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめているか。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追求、解決しようとしている。

		説明したり、それらを基に議論したりしている。	
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 確認テスト ・ 発問への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 確認テスト ・ 発問への対応 ・ ノート内の思考、判断、表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認テスト ・ 発問への対応 ・ ノート内の思考、判断、表現
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

【公民的分野】

観点	I：知識・技能（技術）	II：思考・判断・表現	III：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主主義の意義、国民生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的にまとめている。	社会的事象の意味や意義・特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習状況 ・ 小テスト、定期テスト ・ 提出物 ・ 発問への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習状況 ・ 小テスト、定期テスト ・ 提出物 ・ 発問への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習状況 ・ 小テスト ・ 提出物 ・ 発問への対応
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 年間指導計画

※表中の観点 I：知識・技能 II：思考・判断・表現 III：主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

【歴史的分野】

学期	単元名	学習内容	主に評価する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		

1 学 期 中 間	近 代 の 日 本 と 世 界	第一次世界大戦と戦後の世界	○ ○	○ ○	○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりなどを基に，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ，第一次世界大戦前後の国際情勢や大戦後に国際平和への努力がなされたことについて理解している。 ・経済の変化の政治への影響，世界の動きと日本との関係などに着目して，事象を相互に関連づけるなどして，第一次世界大戦前後の国際情勢や大戦後に国際平和への努力がなされたことについて多面的・多角的に考察し，表現している。 ・資料から時代の移り変わりを読み取る活動を通して，近代（後半）の日本と世界について見通しをもって学習に取り組もうとしている。 	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
		大正デモクラシーの時代	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・国際協調の動きや日本の国民の政治的自覚の高まり，文化の大衆化などを基に，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ，第一次世界大戦がその後の日本に大きな影響を及ぼしたことを理解している。 ・政党政治の展開や普通選挙制の実現，社会運動の広まり，都市化の進展と大衆文化の内容などに着目して，事象を相互に関連づけるなどして，第一次世界大戦がその後の日本に大きな影響を及ぼしたことについて多面的・多角的に考察し，表現している。 	
		世界恐慌と中国との戦争	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の開戦までの日本の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係などを基に，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ，軍部の台頭から戦争までの経過について理解している。 	

		第二次世界大戦と日本	○	○	○	<p>・経済の変化の政治への影響，戦争に向かう時期の社会や生活の変化，世界の動きと日本との関連などに着目して，事象を相互に関連づけるなどして，軍部の台頭から戦争までの経過について多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>・第二次世界大戦の始まりから終結までの日本の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと，そのため国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることを理解している。</p> <p>・第二次世界大戦時の世界の動きと日本との関連に着目して，事象を相互に関連づけるなどして，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたこと，そのため国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることについて多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>・近代（後半）の日本と世界を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現している。</p>	
--	--	------------	---	---	---	--	--

1 学 期 期 末	現 代 の 日 本 と 世 界	平和と民主化	○	○	○	<p>・ 冷戦、日本の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。</p> <p>・ 敗戦前の社会との違いや敗戦による社会への様々な影響などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・ 資料から戦争中や敗戦直後、現在の様子を比較することを通して、現代の日本について見通しをもって学習に取り組もうとしている。</p>	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
		冷戦下の世界と経済大 国化する日本	○	○	○	<p>・ 冷戦体制下での高度経済成長などを基に、諸資料から歴史に関する様々な歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上したことを理解している。</p> <p>・ 高度経済成長期前後の生活の違いや日本と諸外国との関係などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上したことについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	
		グローバル化と日本の 課題	○	○	○	<p>・ 国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめ、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解している。</p>	

					<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化が日本に与えた影響、国際社会と現在の私たちの生活との深いつながりなどに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代の日本の学習をふり返りながら自身の学びを確認、調整しつつ、現代の時代の特色を主体的に追究しようとしている。 	
--	--	--	--	--	--	--

【公民的分野】

学 期	単 元 名	学習内容	主に評価 する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		
1 学 期 期 末	第 1 編	第1章 私たちが生きる現代社会	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解している。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代社会に見られる課題の解決を主体的に関わろうとしている。 	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
	私 た ち と 現 代 社 会	第2章 現代社会の見方・考え方	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契 	

					<p>約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代社会に見られる課題の解決を主体的に関わろうとしている。 ・基本的人権の獲得と発展の歴史を理解する。 ・基本的人権の意義を考察し、個人の尊重と平等権、自由権、社会権、参政権との関係性を考察し、説明している。 ・国際的な人権保障がどのように展開されたのかを理解している。 ・国際的な人権保障の展開と課題、課題の解決に向けてどのような取り組みがなされてきたか考察し、表現している。 	
第2編 私たちの生活と政治	<p>第1章 個人の尊重と日本国憲法</p> <p>第2節 日本国憲法と基本的人権</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権思想のあゆみ ・国際的な人権保障 	○	○	○		
2学期中間	<p>第1章 個人の尊重と日本国憲法</p> <p>第1節 法に基づく政治と日本国憲法</p> <p>第3節 日本の平和主義</p> <p>第2節 日本国憲法と基本的人権</p>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていくことについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 	<p>授業態度 発問評価 提出課題 定期考査</p>

	治 日 本 国 憲 法				<ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに注目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	
	第2章 国民主権と日本の政治 第1節 民主政治と政治参加 第2節 国の政治の仕組み ・国会 ・内閣 ・裁判所 ・三権分立 第3節 暮らしを支える地方自治	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする日本の政治のしくみのあらましや政党の役割を理解している。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ・地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に、地方自治の基本的な考え方について理解している。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など、国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 	
2 学 期 期 末	第3編 私たちの生活 第1章 市場のはたらきと経済 第1節 経済のしくみと消費生活	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ・市場における価格の決まり方や資源の配分を基に、市場経済の基本的な考え方について理解している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、消費者の役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査

と 経 済					<ul style="list-style-type: none"> ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	
	第2節 生産の場としての企業	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の生産などのしくみや働きを理解している。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容について理解している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	
	第3節 金融のしくみとお金の大切さ	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の金融などのしくみや働きについて理解している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、金融によって企業や個人が結びついて成り立っている経済活動の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・金融のしくみとお金の価値について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。 	
	第2章 国民の生活と政府の役割	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 	

					<p>について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 諸資料から、持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身につけている。 ・ 社会的な見方・考え方を働かせ、私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察・構想し、自分の考えを説明、論述している。 ・ 持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会にみられる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。 	
--	--	--	--	--	--	--

2025 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

教科	数学	科目	数学	単位数	4	コース	全コース
教科書	これからの数学 3						
副教材等	中学必修テキスト 3 年 スピードテスト スタディサプリ						

1 学習の到達目標

<p>数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や軽量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。</p> <p>数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して、粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。</p>

2 担当者からのメッセージ（学習方法等）

<p>授業に集中して、授業中にわかる、できるようになりましょう。</p> <p>自分で考えてもわからないところ、答えが合わないところはすぐに質問しましょう。</p> <p>宿題は必ずしましょう。</p>

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観 点	I：知識・技能（技術）	II：思考・判断・表現	III：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<p>数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p>	<p>数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や軽量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定</p>	<p>数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して、粘り強く考え、数学を生活や学習に活かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。</p>

		し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。	
評価方法	小テスト スピードテスト 定期考査	小テスト 定期考査 レポート課題	レポート課題 提出物
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 年間指導計画

※表中の観点 I：知識・技能 II：思考・判断・表現 III：主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

学期	単元名	学習内容	主に評価する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		
1 学期 中間		式の計算	○	○	○	<p>I ○単項式と多項式の乗法の計算ができる。</p> <p>○多項式を単項式でわる除法の計算ができる。</p> <p>○簡単な1次式の乗法の計算ができる。</p> <p>○展開の公式[1]～[4]を用いる簡単な式の展開ができる。</p> <p>○展開の公式がもつ意味を理解し、式を能率よく処理することができる。</p> <p>○因数分解が式の展開の逆であることを理解している。</p> <p>○共通な因数でくくり出す因数分解ができる。</p> <p>○因数分解の公式[1]～[4]を用いる簡単な因数分解ができる。</p> <p>○文字式で一般的に表現し説明することの必要性和意味を理解している。</p> <p>II ○既に学習した計算の方法と関連づけて、単項式と多項式の乗法の計算方法を考察し、説明することができる。</p>	小テスト 定期考査 提出物

					<p>○既に学習した計算の方法と関連づけて、1次式と1次式の乗法の計算方法を考察し、説明することができる。</p> <p>○既に学習した計算の方法をもとに、展開の公式を見いだすことができる。</p> <p>○既に学習した計算の方法と関連づけて、単項式と多項式の乗法の計算方法を考察し、説明することができる。</p> <p>○既に学習した計算の方法と関連づけて、1次式と1次式の乗法の計算方法を考察し、説明することができる。</p> <p>○既に学習した計算の方法をもとに、展開の公式を見いだすことができる。</p> <p>○式の展開や因数分解を具体的な場面で利用することができる。</p> <p>○文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明することができる。</p> <p>○証明を振り返り、数に関する新たな性質を見いだすことができる。</p> <p>Ⅲ○既に学習した計算の方法と関連づけて、単項式と多項式の乗法の計算方法を考えようとしている。</p> <p>○既に学習した計算の方法と関連づけて、1次式と1次式の乗法の計算方法を考えようとしている。</p> <p>○既に学習した計算の方法をもとに、展開の公式を見いだそうとしている。</p> <p>○既に学習した計算の方法と関連づけて、式を因数分解する方法を見いだそうとしている。</p> <p>○文字式で一般的に表現し説明することの必要性和意味を考えようとしている。</p> <p>○文字式を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p> <p>○式の計算について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p>	
--	--	--	--	--	---	--

1 学 期 末		平方根 2 次方程式	○	○	○	<p>I ○数の平方根の必要性和意味を理解している。</p> <p>○記号$\sqrt{\quad}$を正しく用いることができる。</p> <p>○平方根を含む乗法と除法の計算ができる。</p> <p>○平方根を含む加法と減法の計算ができる。</p> <p>○平方根を含むいろいろな計算ができる。</p> <p>○近似値と誤差の意味を理解している。</p> <p>○2 次方程式の必要性和意味およびその解の意味を理解している。</p> <p>○因数分解して2 次方程式を解くことができる。</p> <p>○平方根の考えをもとにして2 次方程式を解くことができる。</p> <p>○解の公式を知り、それを用いて2 次方程式を解くことができる。</p> <p>II ○平方根を含む乗法と除法の計算方法について、具体的な数をもとに考察し、説明することができる。</p> <p>○分母を有理化する方法を考察し、説明することができる。</p> <p>○文字式の計算の方法と関連づけて、平方根を含む加法と減法の計算方法を考察し、説明することができる。</p> <p>○分配法則や展開の公式と関連づけて、平方根を含む式の計算の方法を考察し、説明することができる。</p> <p>○平方根を具体的な場面で利用できる。</p> <p>○2 次方程式の解の個数について考察することができる。</p> <p>○因数分解をもとにして、2 次方程式を解く方法を考察し、説明することができる。</p> <p>○平方根の考えをもとにして、2 次方程式を解く方法を考察し、説明することができる。</p> <p>○係数が文字で表された2 次方程式の解を求める手順を考察することができる。</p>	小テスト 定期考査 提出物
------------------	--	---------------	---	---	---	---	---------------------

					<p>○2 次方程式を能率的に解く方法を考察することができる。</p> <p>○2 次方程式を具体的な場面で利用することができる。</p> <p>○得られた結果を意味づけしたり活用したりすることができる。</p> <p>Ⅲ ○平方根を含む乗法と除法の計算方法について考えようとしている。</p> <p>○分母を有理化する方法を考えようとしている。</p> <p>○平方根を含む加法と減法の計算方法について考えようとしている。</p> <p>○平方根について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○2 次方程式の必要性和意味を考えようとしている。</p> <p>○因数分解をもとにして2 次方程式を解く方法を考えようとしている。</p> <p>○平方根の考えをもとにして2 次方程式を解く方法を考えようとしている。</p> <p>○2 次方程式を能率的に解く方法を考えようとしている。</p> <p>○2 次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○2 次方程式を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p>	
2 学 期 中 間		関数 $y=ax^2$	○	○	○ <p>Ⅰ ○関数 $y=ax^2$ の意味を理解している。</p> <p>○事象の中に関数 $y=ax^2$ としてとらえられるものがあることを知っている。</p> <p>○関数 $y=ax^2$ をグラフに表すことができる。</p> <p>○関数 $y=ax^2$ のグラフの特徴を理解している。</p> <p>○関数 $y=ax^2$ の変化のしかたを理解している。</p> <p>○関数 $y=ax^2$ の変域を求めることができる。</p> <p>○比例、反比例、1 次関数、関数 $y=ax^2$ とは異なる関数関係があることを理解</p>	小テスト 定期考査 提出物

					<p>している。</p> <p>Ⅱ○具体的な事象から関数 $y=ax^2$ の関係を見だし、見いだした関係について説明することができる。</p> <p>○関数 $y=ax^2$ の特徴を表、式、グラフでとらえるとともに、それらを相互に関連づけて考察し、説明することができる。</p> <p>○関数 $y=ax^2$ の変域や変化のしかたについて、原点や a の値に着目して考察し、説明することができる。</p> <p>○関数 $y=ax^2$ を具体的な場面で利用することができる。</p> <p>○具体的な事象から式で表すことが困難な関数関係について、表やグラフを用いて考察し、説明することができる。</p> <p>Ⅲ○関数 $y=ax^2$ の表、式、グラフを相互に関連づけようとしている。</p> <p>○関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○関数 $y=ax^2$ を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p>		
2 学 期 期 末		相似 円	○	○	○	<p>Ⅰ○平面図形の相似の意味を理解している。</p> <p>○相似な図形の性質を理解している。</p> <p>○三角形の相似条件を理解している。</p> <p>○相似な図形の相似比と面積の比との関係を理解している。</p> <p>○基本的な立体の相似の意味を理解している。</p> <p>○相似な立体の相似比と表面積の比、相似比と体積の比との関係を理解している。</p> <p>○三角形と線分の比の性質を用いて、線分の長さなどを求めることができる。</p> <p>○平行線と線分の比の性質を用いて、線分の長さなどを求めることができる。</p> <p>○円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知っている。</p>	小テスト 定期考査 提出物

					<p>る。</p> <p>○円周角の定理を用いて、角の大きさを求めることができる。</p> <p>○円周角の定理の逆を理解している。</p> <p>Ⅱ ○三角形の合同条件と対比させながら、三角形の相似条件を見いだすことができる。</p> <p>○2つの三角形が相似であるかどうかについて、三角形の相似条件をもとにして説明することができる。</p> <p>○三角形の相似条件などをもとに、図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。</p> <p>○三角形と線分の比についての性質を統一的にとらえることができる。</p> <p>○中点連結定理を平行線と線分の比の特別な場合として統一的にとらえることができる。</p> <p>○平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを確かめることができる。</p> <p>○相似な図形の性質を具体的な場面で利用することができる。</p> <p>○相似な図形の性質を具体的な場面で利用することができる。</p> <p>○円周角と中心角の関係を見いだすことができる。</p> <p>○円周角と中心角の関係をもとに、同じ弧に対する円周角の大きさが等しいことを見いだすことができる。</p> <p>○円周角の定理の逆を具体的な場面で利用することができる。</p> <p>○円周角と中心角の関係を具体的な場面で利用できる。</p> <p>Ⅲ ○三角形の合同条件と対比させながら、三角形の相似条件を見いだそうとしている。</p> <p>○三角形と線分の比についての性質を統一的にとらえようとしている。</p> <p>○平行線と線分の比についての性質を</p>	
--	--	--	--	--	---	--

					<p>見いだそうとしている。</p> <p>○相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○相似を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p> <p>○相似について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○相似を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p> <p>○円周角と中心角の関係を見いだそうとしている。</p> <p>○円の接線の作図を見通して立てて行おうとしている。</p>	
3 学 期		三平方の定理 標本調査	○	○	○ <p>I ○三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。</p> <p>○三平方の定理の逆の意味を理解している。</p> <p>○標本調査の必要性和意味を理解している。</p> <p>○コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理できる。</p> <p>II ○三平方の定理を具体的な場面で利用できる。</p> <p>○三平方の定理を具体的な場面で利用できる。</p> <p>○標本調査の方法や結果を批判的に考察し説明することができる。</p> <p>○標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。</p> <p>III ○三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○三平方の定理を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p> <p>○三平方の定理について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○三平方の定理を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p>	小テスト 定期考査 提出物

					<p>○標本調査の必要性和意味を考えようとしている。</p> <p>○標本調査について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p> <p>○標本調査を利用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。</p>	
--	--	--	--	--	--	--

2025 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

教科	理科	科目	理科	単位数	4	コース	全コース
教科書	未来へひろがるサイエンス 3（啓林館）						
副教材等	Key ワーク理科 3 年（教育開発出版）						

1 学習の到達目標

① 自然の事物・現象に対して関心を持ち、意欲的に進んでかかわること。
② 目的意識をもって観察、実験などを行うこと。
③ 科学的に探究する能力の基礎と態度を育てること。
④ 自然の事物・現象についての知識・理解を深めること。
⑤ 科学的な見方や考え方・表現を養うこと。

2 担当者からのメッセージ（学習方法等）

生活の中にある科学をもとに、基礎力、応用力を身につける。 高等学校での理科の学習にむけて実力を養う。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観 点	I：知識・技能（技術）	II：思考・判断・表現	III：主体的に学習に取り組む 態度
観 点 の 趣 旨	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評 価 方 法	定期考査 小テスト・課題 観察や実験活動 表の作成・グラフ作成	定期考査 パフォーマンス課題 観察や実験活動 式の利用やグラフ作成 授業中の発言やノートやレポートなどの記述 小テスト・課題	授業中の発言や態度、ノートやレポートなどの内容 授業や単元の振り返りシート の内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 年間指導計画

※表中の観点 I：知識・技能 II：思考・判断・表現 III：主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

学期	単元名	学習内容	主に評価する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		
1 学期 中間	生命	生命の連続性 1 章 生物のふえ方と成長 2 章 遺伝の規則性と遺伝子 3 章 生物の種類の多様性と進化	○	○	○	<p><1 章 生物のふえ方と成長></p> <p>【知・技】生物のふえ方と成長に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物のふえ方、生物の成長と細胞分裂についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】生物のふえ方と成長について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物のふえ方と成長についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p> <p>【主】生物のふえ方と成長に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> <p><2 章 遺伝の規則性と遺伝子></p> <p>【知・技】遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】遺伝の規則性と遺伝子について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、遺伝現象についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p> <p>【主】遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、探 Q シート、ワークシート、小テスト・定期テストなど

					<p><3 章 生物の種類の多様性と進化></p> <p>【知・技】生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】生物の種類の多様性と進化について、観察, 実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p> <p>【主】生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>		
1 学 期 末	地 球	宇宙を観る 1 章 宇宙の天体 2 章 太陽と恒星の動き 3 章 月と金星の動きと見え方	○	○	○	<p><1 章 地球から宇宙へ></p> <p>【知・技】身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、太陽のようす、惑星と恒星についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】太陽のようす、惑星と恒星について、天体の観察, 実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽のようす、惑星と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに、探究の過程をふり返るなど、科学的に探究している。</p> <p>【主】太陽のようす、惑星と恒星に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> <p><2 章 太陽と恒星の動き></p> <p>【知・技】身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や</p>	行動観察, 発言, 発表, パフォーマンステスト, レポート, 探 Q シート, ワークシート, 小テスト・定期テストなど

					<p>記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】天体の動きと地球の自転・公転について、天体の観察，実験などを行い，その結果や資料を分析して解釈し，天体の動きと地球の自転・公転についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究している。</p> <p>【主】天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。</p> <p><3 章 月と金星の動きと見え方></p> <p>【知・技】身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら，月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】月や金星の運動と見え方について，天体の観察，実験などを行い，その結果や資料を分析して解釈し，月や金星の運動と見え方についての特徴や規則性を見いだして表現しているとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究している。</p> <p>【主】月や金星の運動と見え方に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。</p>		
2 学 期 中 間	物 質	<p>化学変化とイオン</p> <p>1 章 水溶液とイオン</p> <p>2 章 電池とイオン</p> <p>3 章 酸・アルカリと塩</p>	○	○	○	<p><1 章 水溶液とイオン></p> <p>【知・技】化学変化をイオンのモデルと関連づけながら，原子の成り立ちとイオンについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】水溶液とイオンについて，見通しをもって観察，実験などを行い，イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し，化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究している。</p>	<p>行動観察，発言，発表，パフォーマンステスト，レポート，探 Q シート，ワーク</p>

					<p>【主】水溶液とイオンに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。</p> <p><2 章 電池とイオン></p> <p>【知・技】化学変化をイオンのモデルと関連づけながら，金属イオン，化学変化と電池についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】化学変化と電池について，見通しをもって観察，実験などを行い，イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し，化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究している。</p> <p>【主】化学変化と電池に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。</p> <p><3 章 酸・アルカリと塩></p> <p>【知・技】化学変化をイオンのモデルと関連づけながら，酸・アルカリ，中和と塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】水溶液とイオンについて，見通しをもって観察，実験などを行い，イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し，化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究している。</p> <p>【主】水溶液とイオンに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。</p>	シート，小テスト・定期テストなど	
2 学 期 期 末	エ ネ ル ギ ー	運動とエネルギー 1 章 力の合成と分解 2 章 物体の運動 3 章 仕事とエネルギー	○	○	○	<p><1 章 力のつり合い></p> <p>【知・技】力のつり合いと合成・分解を日常生活や社会と関連づけながら，水中の物体にはたらく力，力の合成・分解についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，</p>	行動観察，発言，発表，パフォーマンステスト，レポート，探究シート，ワーク

		ギー			<p>科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】力のつり合いと合成・分解について, 見通しをもって観察, 実験などを行い, その結果を分析して解釈し, 力のつり合い, 合成や分解の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに, 探究の過程をふり返るなど, 科学的に探究している。</p> <p>【主】力のつり合いと合成・分解に関する事物・現象に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p> <p><2 章 物体の運動></p> <p>【知・技】運動の規則性を日常生活や社会と関連つけながら, 運動の速さと向き, 力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】運動の規則性について, 見通しをもって観察, 実験などを行い, その結果を分析して解釈し, 物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現しているとともに, 探究の過程をふり返るなど, 科学的に探究している。</p> <p>【主】運動の規則性に関する事物・現象に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p> <p><3 章 仕事とエネルギー></p> <p>【知・技】仕事とエネルギーを日常生活や社会と関連つけながら, 仕事とエネルギー, 力学的エネルギーの保存についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】仕事とエネルギーについて, 見通しをもって観察, 実験などを行い, その結果を分析して解釈し, 力学的エネルギーの規則性や関係性を見いだして表現しているとともに,</p>	シート, 小テスト・定期テストなど
--	--	----	--	--	--	-------------------

					<p>探究の過程をふり返るなど, 科学的に探究している。</p> <p>【主】仕事とエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>		
3 学 期	エ ネ ル ギ ー	<p>運動とエネルギー</p> <p>4 章 多様なエネルギーとその移り変わり</p> <p>5 章 エネルギー資源とその利用</p>	○	○	○	<p><4 章 多様なエネルギーとその移り変わり></p> <p>【知・技】日常生活や社会と関連つけながら, さまざまなエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】日常生活や社会で使われているさまざまなエネルギーについて, 見通しをもって観察, 実験などを行い, その結果を分析して解釈しているなど, 科学的に探究している。</p> <p>【主】さまざまなエネルギーに関する事物・現象に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p> <p><5 章 エネルギー資源とその利用></p> <p>【知・技】日常生活や社会と関連づけながら, エネルギー資源などの基本的な概念を理解している。</p> <p>【思・判・表】日常生活や社会で使われているエネルギー資源について, 実験結果やデータを分析して解釈しているなど, 科学的に探究している。</p> <p>【主】エネルギー資源に関する事物・現象に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p>	<p>行動観察, 発言, 発表, パフォーマンステスト, レポート, 探究 Q シート, ワークシート, 小テスト・定期テストなど</p>

					<p><1章 自然界のつり合い></p> <p>【知・技】日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】生物と環境について、生物どうしの関係や、微生物のはたらきを調べる観察、実験などを行い、自然界のつり合いについて科学的に探究している。</p> <p>【主】生物と環境に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> <p><2章 さまざまな物質の利用と人間></p> <p>【知・技】日常生活や社会と関連づけながら、さまざまな物質とその利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】日常生活や社会で使われている物質について、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈したり、自然環境の保全と科学技術のあり方について科学的に考察して判断したりするなど、科学的に探究している。</p> <p>【主】さまざまな物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> <p><3章 科学技術と人間></p> <p>【知・技】日常生活や社会と関連づけながら、科学技術の発展についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な資料調査や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】科学技術の発展について、見通しをもって情報収集や資料調査などを行い、その結果を分析して解釈し、科学技術の発展の方向性について根拠にもとづいて予測しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主】科学技術の発展に関する事物・現象に進</p>	
	環境	<p>自然と人間</p> <p>1章 自然界のつり合い</p> <p>2章 さまざまな物質の利用と人間</p> <p>3章 科学技術の発展</p> <p>4章 人間と環境</p> <p>5章 持続可能な社会をめざして</p>	○	○	○	

					<p>んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p> <p><4 章 人間と環境></p> <p>【知・技】日常生活や社会と関連づけながら, 自然環境の調査と環境保全, 地域の自然災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な資料調査や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】自然環境の調査と環境保全, 地域の自然災害について, 身近な自然環境や地域の自然災害などを調べる調査などを行い, 自然環境の保全や自然と人間との関わり方について科学的に考察して判断しているなど, 科学的に探究している。</p> <p>【主】自然環境の調査と環境保全, 地域の自然災害に関する事物・現象に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 科学的に探究しようとしている。</p> <p><5 章 持続可能な社会をめざして></p> <p>【知・技】日常生活や社会と関連づけながら, 自然環境の保全と科学技術の利用についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な資料調査や記録などの基本的な技能を身につけている。</p> <p>【思・判・表】自然環境の保全と科学技術の利用について, 調査活動や討論などを行い, 持続可能な社会の構築に向けて, 科学的な根拠にもとづいて多面的・総合的に考察して判断し, 行動しているなど, 科学的に探究している。</p> <p>【主】自然環境の保全と科学技術の利用に関する事物・現象に進んで関わり, 見通しをもったりふり返ったりするなど, 持続可能な社会の構築に向けて, 科学的に探究しようとしている。</p>	
--	--	--	--	--	--	--

2025 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

教科	音楽	科目	音楽	単位数	1	コース	全コース
教科書	中学生の音楽 2・3 上／下、中学生の器楽						
副教材等	バインダー、プリント、アルトリコーダー、iPad						

1 学習の到達目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽の基礎を学び、歌う、楽器を演奏する、音楽を聴くなどの活動を通して、音楽の楽しさや美しさを感じ、また多くの種類の音楽に接することで、音楽の世界が広がることを願っています。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観 点	I：知識・技能（技術）	II：思考・判断・表現	III：主体的に学習に取り組む 態度
観 点 の 趣 旨	曲想と音楽の構造や作詞・作曲者の背景等との関わり及び音楽の多様性について理解している。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱や器楽で表している。鑑賞では、作曲家の時代背景、西洋音楽を中心に特徴を捉え学習し、音楽の多様性について理解している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関わりを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自分の思いや意図をもち、音楽を評価しながら、どのように表現するか考え、音楽の美しさや良さを味わって聴く。	音や音楽、音楽文化、時代背景に親しむことができるように、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽による表現および鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・定期考査 ・実技技能の試験 ・発問への対応 ・鑑賞や楽曲のレポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・定期考査 ・実技試験 ・発問への対応 ・鑑賞や楽曲のレポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・発問への対応 ・レポート ・教材の準備

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 年間指導計画

※表中の観点 I：知識・技能 II：思考・判断・表現 III：主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

学期	単元名	学習内容	主に評価する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		
1 学期	花	歌詞の内容と旋律との関わりを理解し、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	○	○	○	日本語の美しい響きを大切にしながら発音に気をつけて歌うことができる。 対旋律を聞きながら、美しい2部合唱ができる。	プリント提出 学習態度
	花の街	詩に込められた思いが、旋律や強弱にどのように生かされているかを感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	○	○	○	作詞者・作曲者がこの曲に込めた思いを理解することができる。 曲の背景を理解し、歌詞の思いに合わせた歌い方を工夫しながら歌唱できる。	実技試験 プリント提出 学習態度
	ボレロ	楽器の音色に親しみながら、オーケストラの響きを味わう。	○	○	○	曲全体を通して繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律に注目しながら聴くことができる。 音色や強弱の変化に注目して聴くことができる。	プリント提出 学習態度
	器楽	アルトリコーダー奏 ラヴァーズコンチェルト、	○	○	○	運指を正しく理解して演奏することができる。	学習態度 実技試験
2 学期	帰れソレント	短調と長調の違いを感じ取り、速度や強弱に気をつけながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	○	○	○	曲の舞台となっている国について理解を深めることができる。 歌詞の意味を理解しながら、曲想を生かして表情豊かに歌える。	実技試験 プリント提出 学習態度
	ブルータバ	曲想と音楽の特徴との関わりに注目しながら、音楽の良さや美しさを味わって聴く。	○	○	○	作曲者が記した標題や解説、当時の時代背景を学習して、作品に込められた思い感じ取って聴くことができる。	プリント提出 学習態度

	器 楽	アルトリコーダー奏 木かげの思い出	○	○	○	運指を正しく理解して演奏することができる。	学習態度 実技試験
	合 唱	コーラスコンクールの 曲		○	○	クラスで協力して、2部合唱曲を仕上げ ていくことができる。	学習態度
3 学 期	早 春 賦	歌詞の内容を理解し、 拍子や強弱に気をつけ ながら、曲にふさわし い表現を工夫して歌 う。	○	○	○	歌詞で表されている情景を思い浮かべ ながら、表情豊かに歌うことができる。 曲の形式や構成を理解して歌うことが できる。	実技試験 プリント提 出 学習態度
	歌 舞 伎	「勸進帳」 音楽、舞踊、演技が一体 となった歌舞伎の良さ や美しさを味わう。	○	○	○	声や楽器の音色、旋律の特徴などに気を つけながら、聴くことができる。	プリント提 出 学習態度
	器 楽	アルトリコーダー奏 ふるさと	○	○	○	運指を正しく理解して演奏することが できる。	学習態度 実技試験

2025 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

教科	保健体育	科目	保健体育	単位数	3	コース	全コース
教科書	新編 新しい保健体育 東京書籍						
副教材等	なし						

1 学習の到達目標

心身の健全な育成をはかり、スポーツの楽しさ身体活動の爽快さを学習するとともに、ルールを厳守する姿勢や礼儀を学び、習得する。心と体を一体として捉え、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

2 担当者からのメッセージ（学習方法等）

中学生に時期は心も体も急激に成長する大切な時期です。保健や体育の基礎的な知識や技能を学び、それを活用して、実社会や生活で役立つ力を身につけましょう。

「体育」：毎時間評価を行い、学期に数回テストを行う。

授業に参加する態度や安全に注意しているかなどを総合的に評価する。また、長期の見学者については教材を使用し、レポートを提出させることによる評価をする。

「保健」：単元ごとに小テスト、各学期末に定期考査を実施する。授業に参加する態度や関心、意欲があるかなどを総合的に評価する。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観 点	I：知識・技能（技術）	II：思考・判断・表現	III：主体的に学習に取り組む 態度
観 点 の 趣 旨	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊に実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し、判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・確認テスト ・レポート ・発問への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・確認テスト ・レポート ・発問への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・確認テスト ・レポート ・発問への対応
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評			

定にまとめる。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 年間指導計画

※表中の観点 I：知識・技能 II：思考・判断・表現 III：主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

学 期	単 元 名	学習内容	主に評価 する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		
1 学 期 末		「体育」集団行動、ラジ オ体操、トレーニング、 体づくり運動、陸上競 技	○	○	○	I. 各種目での様々なルール・認識を身 につけることができたか。 II・III. 各種目で自己の課題を見出すこ とができたか	行動観察，発 言，発表，ワ ークシート， 実技テスト・ 定期テスト など
		「保健」 1 環境への適応能力	○	○	○	I. 身体には環境に対してある程度まで の適応応力があること、および身体の適 応能力を超えた環境は健康に影響を及 ぼすことがあることを、言ったり書いたり している。 II. 健康と環境に関わる事象や情報など を分析、整理し健康の保持増進の為の原 則や概念を明らかにするため、課題を発 見し、習得した知識を活用して、科学的 に思考、判断し、表現している。 健康と環境について、疾病などのリス クを軽減し健康を保持増進・回復する方 法を考え、その理由などを、他者と話し 合ったり、ノートに記述したりして、筋 道を立てて伝えあっている。 III. 学習内容に関心を持ち、教科書の資 料を活用したり、身近な情報などを収集 したりして課題について調べるなど、粘 り強く学習に取り組もうとしている。 自分の意見を言ったり、他者の意見を 取り入れたりして、自己の学習の進め方 や活用する資料を変える、調べた内容を 確認・修正するなど、学習を調整しながら	

		2 活動に適する環境 ・熱中症の予防と手当	○	○	○	<p>ら取り組んでいる。</p> <p>I. 快適で能率の良い生活を送るための温度、湿度、明るさには一定の範囲があることを、言ったり、書いたりしている。</p> <p>II. 健康と環境に関わる事象や情報などを分析、整理し健康の保持増進の為の原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考、判断し、表現している。</p> <p>健康と環境について、疾病などのリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝えあっている。</p> <p>III. 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p>	
		3 飲料水の衛生的管理	○	○	○	<p>I. 飲料水は健康と密接な関係があること、飲料水を衛生的に保つには基準に適合するよう管理することが必要であることを、言ったり書いたりしている。</p> <p>II. 健康と環境に関わる事象や情報などを分析、整理し健康の保持増進の為の原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考、判断し、表現している。</p> <p>健康と環境について、疾病などのリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝えあっている。</p> <p>III. 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集</p>	

					したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。
4 室内の空気の衛生的管理	○	○	○	I. 空気は健康と密接な関りがあること、室内の空気を衛生的に保つには基準に適合するように管理必要であることを言ったり、書き出したりしている。 II. 健康と環境に関わる事象や情報などを分析、整理し健康の保持増進の為の原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考、判断し、表現している。 健康と環境について、疾病などのリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝えあっている。 III. 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。	
5 生活に伴う廃棄物の衛生的管理 ・放射線と健康	○	○	○	I. 人間の生活、産業、自然災害などによって生じた廃棄物は、環境の保全に十分配慮し、環境を汚染しないように衛生的に処理することが必要であることを言ったり、書き出したりしている。 II. 健康と環境に関わる事象や情報などを分析、整理し健康の保持増進の為の原則や概念を明らかにするため、課題を発	

						<p>見し、習得した知識を活用して、科学的に思考、判断し、表現している。</p> <p>健康と環境について、疾病などのリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝えあっている。</p> <p>Ⅲ. 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p>	
2 学 期 期 末		<p>「体育」集団行動、ラジオ体操、トレーニング、バスケットボール、リズムトレーニング</p> <p>「保健」</p> <p>1 感染症の広がり方</p>	○	○	○	<p>Ⅰ. 各種目での様々なルール・認識を身につけることができたか。</p> <p>Ⅱ・Ⅲ. 各種目で自己の課題を見出すことができたか。</p> <p>Ⅰ. 感染症は、病原体が主な要因となって発生し、感染や発病には人の条件だけでなく、自然環境や社会環境の関わっていつ事を言ったり、書き出したりしている。</p> <p>Ⅱ. 健康と環境に関わる事象や情報などを分析、整理し健康の保持増進の為の原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考、判断し、表現している。</p> <p>健康と環境について、疾病などのリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝えあっている。</p> <p>Ⅲ. 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集</p>	行動観察，発言，発表，ワークシート，実技テスト・定期テストなど

					<p>したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p>
	2 感染症の予防	○	○	○	<p>I. 感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、体の抵抗力を高めることによって予防できることを言ったり、書いたりしている。</p> <p>II. 健康と環境に関わる事象や情報などを分析、整理し健康の保持増進の為の原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考、判断し、表現している。</p> <p>健康と環境について、疾病などのリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝えあっている。</p> <p>III. 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p>
	3 性感染症の予防	○	○	○	<p>I. 性感染症の予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用するなど、感染のリスクを軽減する方法を身に着けることが必要であることを言ったり、書いたりしたりしている。</p> <p>II. 健康と環境に関わる事象や情報などを分析、整理し健康の保持増進の為の原則や概念を明らかにするため、課題を発</p>

					<p>見し、習得した知識を活用して、科学的に思考、判断し、表現している。</p> <p>健康と環境について、疾病などのリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝えあっている。</p> <p>Ⅲ. 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる</p>	
		4 エイズの予防	○	○ ○	<p>Ⅰ. エイズの予防には、性的接触を避ける、コンドームを使用する、感染者や他人の血液などには触れないなど HIV 感染のリスクを軽減する方法を身に着けることが必要であることを言ったり、書いたりしたりしている。</p> <p>Ⅱ. 健康と環境に関わる事象や情報などを分析、整理し健康の保持増進の為の原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考、判断し、表現している。</p> <p>健康と環境について、疾病などのリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝えあっている。</p> <p>Ⅲ. 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を</p>	

						確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。	
3 学 期		「体育」集団行動、ラジオ体操、持久走、トレーニング	○	○	○	I. 各種目での様々なルール・認識を身につけることができたか。 II・III. 各種目で自己の課題を見出すことができたか。	
		「保健」 5 医薬品の利用	○	○	○	I. 医薬品を効果的に利用するためには、医師や薬剤師の指示に従い、注意書きや説明書をきちんと読んで正しく使用することが必要であることを言ったり、書き出したりしている。 II. 健康と環境に関わる事象や情報などを分析、整理し健康の保持増進の為の原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考、判断し、表現している。 健康と環境について、疾病などのリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝えあっている。 III. 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。 自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。	行動観察，発言，発表，ワークシート，実技テスト・定期テストなど
		6 保健・医療機関の利用	○	○	○	I. 健康の保持増進、疾病やけがからの回復には、地域の保健センターや保健所などの保健機関を利用することが有効であることを言ったり、書き出したりしている。 II. 健康と環境に関わる事象や情報などを分析、整理し健康の保持増進の為の原	

					<p>則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考、判断し、表現している。</p> <p>健康と環境について、疾病などのリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝えあっている。</p> <p>Ⅲ. 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p>	
		7 健康を守る社会の取り組み	○	○ ○	<p>Ⅰ. 健康の保持増進や疾病の予防のためには、健康的な生活行動など個人の取り組みとともに、健康診断や健康相談、予防接種など社会のさまざまな取り組みによって解決が図られていることを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>Ⅱ. 健康と環境に関わる事象や情報などを分析、整理し健康の保持増進の為の原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考、判断し、表現している。</p> <p>健康と環境について、疾病などのリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝えあっている。</p> <p>Ⅲ. 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方</p>	

		8 保健の学習を振り返ろう	○	○	○	<p>や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p> <p>I. 生涯にわたって健康的な生活を送るためには、個人が主体的に努力し、社会全体でそれを支援することが重要であることを言ったり、書き出したりしている。</p> <p>II. 健康と環境に関わる事象や情報などを分析、整理し健康の保持増進の為の原則や概念を明らかにするため、課題を発見し、習得した知識を活用して、科学的に思考、判断し、表現している。</p> <p>健康と環境について、疾病などのリスクを軽減し健康を保持増進・回復する方法を考え、その理由などを、他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝えあっている。</p> <p>III. 学習内容に関心を持ち、教科書の資料を活用したり、身近な情報などを収集したりして課題について調べるなど、粘り強く学習に取り組もうとしている。</p> <p>自分の意見を言ったり、他者の意見を取り入れたりして、自己の学習の進め方や活用する資料を変える、調べた内容を確認・修正するなど、学習を調整しながら取り組んでいる。</p>	
--	--	---------------	---	---	---	---	--

2025 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

教科	美術	科目	美術	単位数	1	コース	全コース
教科書	美術(日本文教出版)						
副教材等	なし						

1 学習の到達目標

表現及び鑑賞の活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育てるとともに感性を豊かにし、美術の基礎的な能力をのばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

- ① 絵画分野・デザイン分野・鑑賞分野分野の基礎を学期毎に学習し身につける。
- ② 毎時間を大切にし、集中して授業に取り組む姿勢を養う。

2 担当者からのメッセージ（学習方法等）

作品制作には集中力と持続力が不可欠。毎時間の授業を大切にし、制作の各段階毎の指導事項をしっかり理解した上で、着実に丁寧に課題作品を仕上げていくこと。また、提出期限を守り課題作品すべて提出すること。未提出の場合は評価不能で点数は付かない。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観 点	I：知識・技能（技術）	II：思考・判断・表現	III：主体的に学習に取り組む 態度
観 点 の 趣 旨	課題ごとに考察、習得した知識やノウハウを、課題を持ち越して活用、深化、応用しようとしている。また、それらに係る技術を身に付けている。	作品制作をする中で、作品の製作意図やアイデアが練られている。 またその意図やアイデアが、第三者に伝わるように、表現に工夫が成されている。	課題作品を制作する中で、自分なりに興味を持てる要素を見つけて取り組んでいる。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・制作状況 ・作品 ・発問への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作状況 ・作品 ・発問への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作状況 ・作品 ・発問への対応
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに合わせて評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 年間指導計画

※表中の観点 I：知識・技能 II：思考・判断・表現 III：主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

学期	単元名	学習内容	主に評価する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		
1 学期 中間	平面デザイン	①コラージュによる平面構成と色鉛筆による彩色	○	○	○	コラージュによる平面構成について理解を深め、その特性を作品制作に活かしている。また、色鉛で着色によって、立体感や質感を、密度を持って表現しようとしている。	・制作状況 ・作品 ・発問への対応
1 学期 期末	平面デザイン	②装飾的平面構成	○	○	○	絵具の混色について理解を深め、筆による着色方法を習得しようとしている。	・制作状況 ・作品 ・発問への対応
2 学期 中間	絵画・デザイン	③垂らし込みとドローイングによる平面構成		○	○	墨や絵の具の垂らし込みによる、偶発的な形態に線描を加えることで、表現に密度と完成度を与えようとしている。	・制作状況 ・作品 ・発問への対応
2 学期 期末	立体	④立体作品の制作	○	○	○	粘土、木材、針金、アルミホイル等の素材の特性について理解し、立体作品の制作に活用している。	・制作状況 ・作品 ・発問への対応
3 学期	応用	⑤応用作品（平面或いは立体）制作	○	○	○	①～④の課題を通して経験した表現方法を、課題を持ち越して活用、深化、応用しようとしている。	・制作状況 ・作品 ・発問への対応

2025 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

【中学】

教科	技術家庭	科目	技術家庭	単位数	2	コース	全コース
教科書	「新しい技術・家庭」家庭分野（東京書籍）						
副教材等	「技術・家庭ノート」（家庭分野）（新学社）、プリント、プリント用ファイル						

1 学習の到達目標

生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、より良い生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する力を養う。

2 担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分の生活と家族や周囲の人々、環境との関りを考え、世の中の様々な出来事に関心を持ちましょう。特に、保育分野では、今までの自分の成長を振り返り、多くの人の支えや導きがあったことに気づき、感謝の気持ちを持ちましょう。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

【家庭分野】

観 点	I：知識・技能	II：思考・判断・表現	III：主体的に学習に取り組む 態度
観 点 の 趣 旨	家族・家庭の基本的な機能に付いて理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技術を身につけている。	これらの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と共同し、寄りよい生活の実現に向けて、課題の解決を主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評 価 方 法	行動観察、定期考査、製作品、ワーク、ワークシート、実技テスト など	行動観察、定期考査、製作品、ワーク、ワークシート、レポート など	行動観察、ワーク、ワークシート、レポート、発問への対応 など
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評価にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 年間指導計画

※表中の観点 I：知識・技能 II：思考・判断・表現 III：主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

学 期	単 元 名	学習内容	主に評価 する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		
1 学 期	私 た ち の 成 長 と 家 族 地 域 ・ 食 生 活	とともに生きる 5 編 私たちの成長と家族・地域 2 章幼児の生活と家族 1 幼い頃を振り返ろう 2 幼児の身体の発達 3 幼児の心の発達 4 幼児の1日の生活 5 幼児の生活習慣 6 幼児の生活と遊び 《実習》 手作りおもちゃ作り 7 幼児との関わり方の工夫と生活に活かす 8 子どもにとっての家族	○	○	○	・幼い頃を振り返り、周囲の人との関りの大切さについて理解している。 ・幼児の身体の発達と心の発達について理解している。 ・幼児の発達と生活の特徴について理解している。 ・幼児の生活習慣の習得と支える家族の役割について理解している。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ・おもちゃ製作を通して、幼児期の遊び道具の役割や幼児の関わり方を工夫している。	実技作品 行動観察 ワークシート ワーク 定期考査
2 学 期	消 費 生 活 と 環 境	生活者として意思決定 4 編 私たちの消費生活と環境 1 章私たちの消費生活 1 消費者としての自覚 2 購入方法と支払い方法 3 計画的な金銭管理 4 消費者トラブルと対策 2 章責任のある消費者になるために 1 消費者としての権利と責任 2 持続可能な社会 3SDGs と日常生活 《実習》レポート	○	○	○	・物資・サービスについて理解している。 ・売買契約、購入方法、支払い方法のしくみについて理解している。 ・消費者トラブルの事例を通して、適切な対応方法について考え、実践しようとしている。 ・持続可能な消費生活を目指し、課題と解決方法を主体的に取り組もうとしている。	行動観察 ワーク レポート 定期考査

	食生活	《実習》 調理実習 3 回分	○		○	<p>《実習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習を通して、調理の安全・衛生について具体的に考えようとしている。 ・調理の基礎的な技術を習得しようとしている。 ・特に、野菜・いも・肉・魚の調理について、理解している。さらに、蒸し料理についても関心を持ち、調理しようとしている。 	
3 学期	住生活	自ら生活をつくる 3 編 私たちの住生活 1 章住まいの役割と安全な住まい方 3 健康で快適な室内環境 4 家族の住まいを安全・安心に 5 災害への対策 6 持続可能な住生活を目指して	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭内事故の予防や対応策など家族の安全を考えた住空間の整え方を工夫しようとしている。 ・自然災害への備えや持続可能な住空間を目指して、住まいを工夫し創造し、実践しようとしている。 	行動観察 ワーク 定期考査

2025 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

教科	外国語	科目	英語	単位数	5	コース	全コース
教科書	NEW CROWN ENGLISH SERIES 3 (三省堂) NEW CROWN ENGLISH SERIES 3 学習者用デジタル教科書(三省堂)						
副教材等	中学必修テキスト英語 3 年 NEW CROWN (三省堂) サポートブック英語 3 年 (三省堂) 聞きトレ 64 (浜島書店)						

1 学習の到達目標

英語の「読む・聞く・書く・話す」の 4 技能を総合的に伸ばしていくことを目指す。

2 担当者からのメッセージ (学習方法等)

英語は積み重ねの教科です。教科書の本文に入る前に必ず予習をし、授業に備えてください。授業時に行われる音読などの活動を通して英語の音に慣れ親しみ、単語力も増やしていきましょう。また、学んだ文法事項や語句を利用して、自分の意見や考えを英語で表現できるようになりましょう。英語を学習することを通じて、豊かな人間性を育んでいきましょう。

3 学習評価 (評価基準と評価方法)

観 点	I : 知識・技能 (技術)	II : 思考・判断・表現	III : 主体的に学習に取り組む 態度
観 点 の 趣 旨	外国語の 4 技能 (話す、書く、聞く、読む) について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	場面、目的、状況に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 宿題考査 ・ 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 提出課題 ・ 小テスト ・ リスニングテスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業への取り組み ・ 提出課題 ・ オンライン英会話 CHATTY

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 年間指導計画

※表中の観点 I：知識・技能 II：思考・判断・表現 III：主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

学期	単元名	学習内容	主に評価する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		
1 学 期 中 間	L1	Join Us <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形 ・説明文を読む ・夢中になっていることを紹介する 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形（経験用法・完了用法）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・現在完了形（経験用法・完了用法）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・ケイトにどんなアドバイスをするか伝える。 ・AとBの写真のどちらがおいしそうに見えるかを伝える。 	定期考査 小テスト リスニング テスト 提出課題 授業の様子 授業への取り組み
	L2	The Power of Music <ul style="list-style-type: none"> ・現在完了進行形 ・help+A+動詞の原形 ・It is ... (for A) to ~. ・意見文を読む ・テーマに合う曲を紹介する ・提案する 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了進行形の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・現在完了進行形の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・最近よく聞いている曲について伝える。 ・〈help+A+動詞の原形〉の意味や働きを理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・〈help+A+動詞の原形〉の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・落ち込んでいる友だちに聞いてほしい曲について伝える。 ・〈It is ... (for A) to ~.〉の意味や働きを 	

						<p>理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。</p> <p>・〈It is ... (for A) to ~.〉の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。</p>	
1 学 期 期 末	L3	Cranes for Peace <ul style="list-style-type: none"> ・受け身 ・受け身 (by ...の文) ・物語を読む ・パンフレットに記載された佐々木禎子さんの物語を読む 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・受け身の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・受け身の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・ボランティアガイドに質問したいことについて伝える。 ・受け身 (by ...の文) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・受け身 (by ...の文) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 ・最近、衝撃を受けたできごとについて伝える。 	定期考査 小テスト リスニング テスト 提出課題 授業の様子 授業への取り組み
	L4	Bollywood Movies <ul style="list-style-type: none"> ・後置修飾 (動詞の-ing 形) ・後置修飾 (過去分詞) ・be glad to ... ・意見文を読む ・映画を観る手段についてのアンケート回答を書く 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・後置修飾 (動詞の-ing 形) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・後置修飾 (動詞の-ing 形) の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 ・ポスターや写真を見せながら、好きな映画を紹介する。 	

					<ul style="list-style-type: none">・後置修飾（過去分詞）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。・後置修飾（過去分詞）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。・外国語の映画を見るなら、字幕付きの映画と吹き替え映画のどちらがよいかを伝える。		
2 学 期 中 間	L5	<p>Translating culture</p> <ul style="list-style-type: none">・ 関係代名詞 that, which（主格）・関係代名詞 who, that（主格）・ want＋A＋to＋動詞の原形・ 物語文を読む・ 4 コマ漫画のセリフを翻訳する	○	○	○	<ul style="list-style-type: none">・ 関係代名詞 that, which（主格）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。・ 関係代名詞 that, which（主格）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。・ 「行ってきます」などの表現をどんなときに使うか、英語で説明する。・ 関係代名詞 who, that（主格）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。・ 関係代名詞 who, that（主格）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。・ 「お年玉」などのことばを、英語で説明する。・ 〈want＋A＋to＋動詞の原形〉の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。・ 〈want＋A＋to＋動詞の原形〉の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。	定期考査 小テスト リスニング テスト 提出課題 授業の様子 授業への取 り組み
	L6	<p>Being Fair</p> <ul style="list-style-type: none">・ 関係代名詞 that,	○	○	○	<ul style="list-style-type: none">・ 関係代名詞 that, which（目的格）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それ	

		<p>which（目的格）</p> <ul style="list-style-type: none">・後置修飾（名詞を修飾する文）・説明文を読む・ウェブサイトに記載された、“fairness”の説明を読む			<p>を含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none">・関係代名詞 that, which（目的格）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。・身のまわりにある、人に気づかれにくい困難について伝える。・後置修飾（名詞を修飾する文）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。・後置修飾（名詞を修飾する文）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。・人に気づかれにくい困難について、どのように対処すればよいか伝える。	
2 学 期 期 末	L7	<p>Design for Change</p> <ul style="list-style-type: none">・仮定法過去（if）・仮定法過去（I wish）・If I were you, I would・意見文を読む・問題を解決するために、何を提案したらよいか話し合う	○	○	○ <ul style="list-style-type: none">・仮定法過去（if）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。・仮定法過去（if）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。・ごみを減らすために、どんなごみ箱を作るとよいか伝える。・仮定法過去（I wish）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。・仮定法過去（I wish）の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。・エスカレーターとピアノ階段のどちらを使うか伝える。・〈If I were you, I would〉の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、	定期考査 小テスト 提出課題 リスニング テスト 授業の様子 授業への取り組み

						<p>内容を捉えることができる。</p> <p>・〈If I were you, I would ...〉の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。</p>	
3 学 期	L8	<p>For Our Future</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問〈SVO〉 ・間接疑問〈SVOO〉 ・意見文を読む ・情報誌に掲載された「ことば」に関する投稿記事を読む <p>英語検定団体受験対策 相愛高校入試対策</p>	○	○	○	<p>・間接疑問〈SVO〉の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。</p> <p>・間接疑問〈SVO〉の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。</p> <p>・自分が10年後に、どこで、何をしていると思うか伝える。</p> <p>・間接疑問〈SVOO〉の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。</p> <p>・間接疑問〈SVOO〉の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。</p> <p>・丘先生の質問（Why do we learn foreign languages?）の答えを考え、伝える。</p> <p>・英語検定過去問題に取り組む。</p> <p>・相愛高校入試問題過去問題に取り組む。</p>	<p>定期考査 小テスト リスニング テスト 提出課題 授業の様子 授業への取り組み</p>

2025 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

教科	英会話	科目	英会話	単位数	1	コース	特進・進学
教科書	なし						
副教材等	My First Passport 2 student book (Oxford)						

1 学習の到達目標

- ・英会話の基礎・基本を、コミュニケーションを通して学ぶ。
- ・言語のみならず、異文化理解も深める。
- ・ネイティブの発音に慣れ、インプット・アウトプットを行えるようになる。

2 担当者からのメッセージ（学習方法等）

「話す」能力を伸ばすため、正しい発音と基本となる英語表現を覚えていきましょう。また、相手に伝えることを意識しながら、相手の会話をしっかりと聞き、相手が聞き取れる声のボリュームで発音し、時には身振り手振りもつけてコミュニケーションをとる練習をしましょう。基本となる英語表現を使って自分の意見を言えるよう応用力も身につけていきましょう。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観 点	I：知識・技能（技術）	II：思考・判断・表現	III：主体的に学習に取り組む 態度
観 点 の 趣 旨	外国語の 4 技能（話す、書く、聞く、読む）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	場面、目的、状況に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評 価 方 法	・各レッスンにおける小テスト（語句・単語）	・各レッスンにおける小テスト（リスニング）	・学期ごとに実施する確認テスト（スピーキング） ・発問への反応、発言

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 年間指導計画

※表中の観点 I：知識・技能 II：思考・判断・表現 III：主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

学期	単元名	学習内容	主に評価する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		
1 学期 中間	L1	・スーツケースを開けていいですか	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼に応えることができる。 ・税関で使う語句を理解できる。 ・疑問詞を含む疑問文を理解できる。 ・旅行に関わる語句を理解できる。 ・過去形を理解し使える。 ・観光地や活動について企画できる。 	学習態度 小テスト 発問の反応 提出課題
	L2	・フライトはどうでしたか	○	○	○		
	L3	・明日何をすべきでしょうか。	○	○	○		
1 学期 期末	L4	・中華街に行きます	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・未来形を理解し使える。 ・副詞を正しい語順で使える。 ・スポーツや趣味に関わる語句を理解できる。 ・値段や形容詞を理解できる。 ・比較級を理解し使える。 	学習態度 小テスト 発問の反応 提出課題
	L5	・余暇に何をしますか	○	○	○		
	L6	・これの方が安いです	○	○	○		
2 学期 中間	L7	・お金を忘れないで	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・命令法やそれに準ずる助動詞を理解し使える。 ・誘う表現を理解し使える。 ・義務の表現を理解し使える。 ・「～すぎる」「十分～」の表現を理解し使える。 	学習態度 小テスト 発問の反応 提出課題
	L8	・コンサートに行きたいですか	○	○	○		
	L9	・勉強しなければなりません	○	○	○		
2 学期 期末	L10	・ローラーコースターに乗りましたか	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形を理解し使える。 ・場所や活動に関わる形容詞を理解し使える ・必要性を表現できる。 ・現在完了形を理解し使える。 ・「すべき」を使って忠告できる。 ・日本の観光場所を述べられる。 	学習態度 小テスト 発問の反応 提出課題
	L11	・助けが必要です	○	○	○		
	L12	・京都に行ったことがありますか	○	○	○		
3 学期	L13	・描写できますか	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・店で食品を注文できる。 ・敬語で依頼できる。 ・描写に関わる形容詞を理解し使える。 ・食品を説明する形容詞を理解し使える。 	学習態度 小テスト 発問の反応 提出課題
	L14	・ナチョスをお願いします	○	○	○		

2025 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

教科	コールユーブンゲン	科目	コールユーブンゲン	単位数	1	コース	音楽
教科書	コールユーブンゲン（大阪開成館発行）						
副教材等	子供のためのソルフェージュ 1b（音楽之友社）、新曲視唱用プリント						

1 学習の到達目標

- ・基礎的なソルフェージュ力の充実を図る。
- ・音感やリズム感を養い、読譜力の向上につなげる。
- ・正しい音程を身に付け、また音程を正しく聴き取る力を培う。
- ・新曲視唱では素早く読譜し、正確に視唱できる力を養う。

2 担当者からのメッセージ（学習方法等）

個人のレベルに合わせたグループレッスンを行います。コールユーブンゲンや新曲視唱で歌唱力、正しい音感やリズム感を養ってください。それらは専攻実技も含め、全ての音楽専門教科に通じます。不得意な場合も諦めず、続けて努力していきましょう！きっと多くの知識と能力が身につくはずです。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観 点	I：知識・技能（技術）	II：思考・判断・表現	III：主体的に学習に取り組む 態度
観 点 の 趣 旨	譜表に書かれた楽譜を見て、音楽を形づくっている要素を正しく読み取り、正確な音程やリズムで歌うことができる。また、旋律やフレーズのまとまりなど様々な情報を読み取り、歌唱に活かすことができる。	音高や音程、リズムなどを正しく把握し、旋律における音のまとまり、自然な抑揚といった豊かな表現をもって歌うことができる。	音高やリズムを正しく表現できるといった基本的なことに留まらず、音楽性豊かな表現の追求に活用しようと意欲的である。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・実技試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・実技試験 ・発問への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・発問への対応

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 年間指導計画

※表中の観点 I：知識・技能 II：思考・判断・表現 III：主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

学期	単元名	学習内容	主に評価する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		
1 学期	三連音・六度音程	コールユーブンゲン No.37～42 三連音、六度音程、七度音程 子供のためのソルフェージュ 1b 第 1～2 課	○	○	○	I：和音や和声をよく感じながら、正確な音程やリズムで歌うことができる。また、六度音程と七度音程の音感を取得し、それらを踏まえながら臨時記号にも対応し、正確に歌唱することができる。 II：旋律における音のもつ方向性やフレーズのまとまり、自然な抑揚などを表現できる。 III：音程やリズムを正しく歌うことができるといった基本的なことに留まらず、音楽性豊かな表現を目指そうと意欲的である。また、新曲視唱ではヘ音記号の読譜もふまえて Cdur、a moll の調性を中心にさまざまな種類の曲を自発的に取り組むことができる。	実技試験 学習態度 練習状況 発問の反応
2 学期	七度音程・入試範囲の復習	コールユーブンゲン No.18～45 七度音程 入試範囲の復習 子供のためのソルフェージュ 1b 第 3～4 課	○	○	○	I：和音や和声をよく感じながら、正確な音程やリズムで歌うことができる。また、七度音程の音感を取得し、それらを踏まえながら臨時記号にも対応し、正確に歌唱することができる。入試範囲となる箇所を重点的に復習できる。 II：旋律における音のもつ方向性やフレーズのまとまり、自然な抑揚などを表現できる。 III：音程やリズムを正しく歌うことができるといった基本的なことに留まらず、音楽性豊かな表現を目指そうと意欲的である。また、新曲視唱では調号 1 つまでの調性を中心にさまざまな種類の曲を自発的に取り組むことができる。	実技試験 学習態度 練習状況 発問の反応

3 学 期	総 復 習	コールユーブンゲン No.1～45 総復習	○	○	○	<p>I：各調の和音や和声をよく感じながら、正確な音程やリズムで歌うことができる。また、各調における音階や和声を踏まえながら臨時記号にも対応し、正確に歌唱することができる。</p> <p>II：旋律における音のもつ方向性やフレーズのまとまり、自然な抑揚などを表現できる。</p> <p>III：音程やリズムを正しく歌うことができるといった基本的なことに留まらず、音楽性豊かな表現を目指そうと意欲的である。また、新曲視唱ではプリントを用いて C dur、a moll の調性を中心にさまざまな種類の曲を自発的に取り組むことができる。</p>	実技試験 学習態度 練習状況 発問の反応
		新曲視唱 C dur, a moll	○	○	○		

2025 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

教科	聴音	科目	聴音	単位数	1	コース	音楽
教科書	なし						
副教材等	五線ノート						

1 学習の到達目標

基礎的なソルフェージュ力の充実を図る。音感、リズム感等を養い、読譜力の向上につなげる。
高校音楽科受験レベルに到達する。

2 担当者からのメッセージ（学習方法等）

個人のレベルに合わせたグループレッスンを行います。不得意な場合も諦めず、続けて努力してみてください。リズムや調性を覚えることによって、音感やリズム感を養ってください。頑張ってください。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観 点	I：知識・技能（技術）	II：思考・判断・表現	III：主体的に学習に取り組む 態度
観 点 の 趣 旨	音楽を形作っている要素を正しく聴き取り、それを記譜することができる。 音楽を聴いて音高、リズム、音程などを正しく把握し、音楽を形作っている要素の働き、効果などを理解する。	音楽を形づくっている要素の働きやその効果などを思考・判断している。	旋律やリズムなどを捉えて記譜することに留まらず、音楽性豊かな表現の追求を主体的に活用しようと意欲的である。
評 価 方 法	・学習状況 ・定期考査 ・発問への対応	・学習状況 ・定期考査 ・発問への対応	・学習状況 ・発問への対応

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 年間指導計画

※表中の観点 I：知識・技能 II：思考・判断・表現 III：主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

学期	単元名	学習内容	主に評価する観点			単元（題材）の評価基準	評価方法
			I	II	III		
1 学期	単旋律	高校音楽科入試対策 高音部記号、低音部記号（4/4、6/8 拍子） C: a:（8 小節）	○	○	○	入試問題に適応できている。 入試の過去問題を聴きとれる。 新しい課題を取り入れ、2 年次より複雑な旋律を理解しようとしている。	学習状況 主体的な授業態度
	複旋律	二声（4/4、4/3、6/8 拍子）C:a:（4 小節）	○	○	○	大譜表で聴き取りができる。 音の高さを判断でき、重音を聴きとれる。	定期テスト
	和音	四声体: 2/2 C:（4～8 小節）密集配置	○	○	○	四声体を学習し、音楽を形作っている要素の働き、効果などを理解する。また、音楽の表現に主体的に活用しようとしている。	
2 学期	単旋律	高校音楽科入試対策 高音部記号、低音部記号（4/4、6/8 拍子） C: a:（8 小節）	○	○	○	入試問題に適応できている。 入試の過去問題を聴きとれる。 新しい課題を取り入れ、2 年次より複雑な旋律を理解しようとしている。	学習状況 主体的な授業態度
	複旋律	二声（4/4、4/3、6/8 拍子）C:a:（4 小節）	○	○	○	大譜表で聴き取りができる。 音の高さを判断でき、重音を聴きとれる。	定期テスト
	和音	四声体: 2/2 C:（4～8 小節）密集配置	○	○	○	四声体を学習し、音楽を形作っている要素の働き、効果などを理解する。また、音楽の表現に主体的に活用しようとしている。	
3 学期	単旋律	高校音楽科進学準備 高音部記号、低音部記号（4/4、3/4、6/8 拍子） C: a: G: e: F: d:（4～8 小節）	○	○	○	ハ長調、イ短調以外の調性や複雑なリズム、跳躍した音程を聴きとることが出来る。新しい課題を取り入れ、複雑な旋律を理解しようとしている。	学習状況 主体的な授業態度
	複旋律	二声（4/4、4/3、6/8 拍子）C:a:G:e:F:d:（4 小節）	○	○	○	ハ長調、イ短調以外の調性の譜表を理解している。	定期テスト

	和 音	四声体:2/2 C: (4～8 小 節) 密集配置、開離配置	○	○	○	四声体の開離配置を学習し、Alt、Ten の 響きを感じ取る。和声の響きから音楽の 要素、働き、効果などを理解し、主体的 に活用しようとしている。	
--	--------	-----------------------------------	---	---	---	--	--

2025 年度 相愛中学校 3 年 シラバス

教科	楽典	科目	楽典	単位数	1	コース	音楽
教科書	新装版「楽典 理論と実習」(音楽之友社)						
副教材等	プリント、バインダー、iPad						

1 学習の到達目標

音楽や楽譜についての基礎知識を習得。

2 担当者からのメッセージ (学習方法等)

実技の演奏に繋がるよう楽譜の基礎知識を習得してください。

3 学習評価 (評価基準と評価方法)

観 点	I : 知識・技能 (技術)	II : 思考・判断・表現	III : 主体的に学習に取り組む 態度
観 点 の 趣 旨	楽譜の基礎知識・理解を深め、音楽を形作っている要素を正しく知り、楽譜の読み書きができる。	音楽を伝える手段として、楽譜の発展がなされ、音源が無くとも楽譜が楽曲の形式や曲想、様相などを思考・判断している。	楽譜の表面的な音の並びだけにとらわれず、音楽性豊かな表現の追求を主体的・協働的に活用しようと意欲的である。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・定期考査 ・発問への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・定期考査 ・発問への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況 ・課題の取り組み ・発問への対応
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期に通信票で提示、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 年間指導計画

※表中の観点 I : 知識・技能 II : 思考・判断・表現 III : 主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元・題材ですべての観点について評価することになるが、学習内容の各項目において特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

学 期	単 元 名	学習内容	主に評価する観点			単元 (題材) の評価基準	評価方法
			I	II	III		

1 学 期	近親調・三和音	1.音程・音階の復習 2.近親調 3.三和音 4.楽語	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	Ⅰ：調性や和音の種類、楽語について理解し、音楽を形作っている要素を正しく知り、楽譜の読み書きができる。 Ⅱ：音楽を伝える手段として、調性や和音の種類、楽語について理解することにより、曲想や様相などを思考・判断している。 Ⅲ：楽譜の表面的な音の並びだけにとらわれず、音楽性豊かな表現の追求を主体的に活用しようと意欲的である。	・学習状況 ・定期考査 ・発問への対応 ・課題の取り組み
2 学 期	三和音	1.三和音（四和音の属七・減七を含む） 2.楽語	○ ○	○ ○	○ ○	Ⅰ：1学期に学習した和音の種類や楽語について、内容を広く深く理解し、音楽を形作っている要素を正しく知り、楽譜の読み書きができる。 Ⅱ：音楽を伝える手段として、和音の種類、楽語について理解することにより、曲想や様相などを思考・判断している。 Ⅲ：楽譜の表面的な音の並びだけにとらわれず、音楽性豊かな表現の追求を主体的に活用しようと意欲的である。	・学習状況 ・定期考査 ・発問への対応 ・課題の取り組み
3 学 期	調判定・移調	1.高校音楽科の入試範囲の復習 2.調判定 3.移調 4.楽語	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	Ⅰ：調判定、移調について理解を深め、音楽を形作っている要素を正しく知り、楽譜の読み書きができる。 Ⅱ：音楽を伝える手段として、調判定や移調について理解を深めることにより、曲想や様相などを思考・判断している。 Ⅲ：楽譜の表面的な音の並びだけにとらわれず、音楽性豊かな表現の追求を主体的に活用しようと意欲的である。	・学習状況 ・定期考査 ・発問への対応 ・課題の取り組み